

尼崎町商店引札概要

1: 文書群番号	085003
2: 文書群名	尼崎町商店引札
3: 出所	-
4: 家業・役職等	-
5: 地名	尼崎町/尼崎市
6: 行政区分	尼ヶ崎町/尼崎市
7: 歴史	近世では江戸でとくに盛んであった。京都・大坂では早くから「ちらし」と呼ばれていたが江戸ほど盛んではなく、また三都以外ではきわめてまれであった。明治以降全国的に普及し一般化した。明治期頃までは小僧や人足をつかって配るのが一般的であったが、大正末頃になると新聞折り込みになり、名称も「ちらし」が定着した。
8: 伝来	昭和60年（1985）6月29日に古書籍商から購入した。
9: 史料入手先	古書籍商
10: 点数	2点（目録件数2件）
11: 年代	近代
12: 構造と内容	本文書群は、近代の尼崎町商店の引札からなる。辰巳町の米穀薪炭商と、大物町の左官・煉瓦請負業者の引札である。
13: 関連史料	地域研究史料館には本文書群のほかに尼崎や伊丹・大坂等の引札を数十点収蔵している。
14: 閲覧条件	原本
15: 作成者	坂江 愛